

玉野高生徒会 9月完成目指す

紹介したい店の位置にさまざまな情報が盛り込まれた大型地図を見ながら、ガイドマップ作りについて話し合う玉野高生徒



玉野高校生徒会は、外国人向けにお薦めの飲食店を掲載した宇野港周辺ガイドマップ作りに取り組んでいる。隠れた名店や地元で人気の定番店を、高校生目線で紹介し、地域おこしに一役買おうと張り切っている。

(角南邦彦)

宇野港お薦め 飲食店マップ

ガイドマップ作りは、宇野港で定期開催されているマルシェ(市場)イベント「UNOICHI」に参加した生徒会役員が、直島への渡航などで地域を訪れる外国人観光客が増えていることに注目。渡航拠点として通過するだけでなく、まちにもっと目を向け、滞在時間を延ばしてもらおうと企画した。

掲載エリアは宇野港とJR宇野駅を中心とした宇野・築港地区。全校生徒に協力を呼び掛け、6月には校舎内に地区の大型地図を設置。紹介したい店のある場所につまようじを差し込み、お薦めのポイントなどを付箋に書き込む形で情報を集めた。

寄せられた情報は教職員も含めて300件以上。玉野らしさや、観光途中に立ち寄れる手軽さなど考慮し、21店をピックアップした。揚げ物が評判で部活帰りの生徒でにぎわう老舗精肉店、魚料理が人

気の定食店、移住者が始めた手作り野菜とドリンク類の店など。個性的な店がそろった。

「商店街には新しい店も増えていて、私たちもマップ作りを通して地域の魅力を再発見できた」と3年田中朱音さん(18)。今後は夏休みを利用して掲載予定店に足を運んで取材。イラストや英文での説明など、生徒に得意分野での参加を募りながら仕上げ

る。9月中の完成を目指し、約千部作る。宇野駅、宇野港のフェリー乗り場やインフォメーションセンターなどで配布予定。2年片山育吹さん(16)は「宇野港一帯のアート作品も掲載して、散策のモデルコースなどを示し、観光客の市街地への回遊につながるような地図にしたい」と話している。

訪日客向け 全校で情報収集

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。